



望月桂 自由を扶うひと

会期：2025年4月5日～7月6日

主催：原爆の図丸木美術館

共催：安曇野市教育委員会

企画：望月桂調査団（代表：足立元）

助成：サントリー文化財団、公益財団法人小笠原敏晶記念財団

日本学術振興会科学研究費助成事業

協力：安曇野市美術館 安曇野市文書館 ANOMALY 無人島プロダクション

特別協力：望月桂

■第1章 安曇野から／安曇野へ

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
01	大町の景	望月桂	1902年 (1913年頃印刷)	15.8 × 11.7	リトグラフ
02	桂書生時代	飯田弟治	1901年	24.0 × 11.5	水彩、紙
03	門	望月桂	1902年	32.2 × 23.5	水彩、紙
04	少女とランプ	望月桂	1911年	44.4 × 32.2	油彩、カンヴァス
05	こたつ辺	望月桂	1910年	90.5 × 116.5	油彩、カンヴァス
06	小諸町	望月桂	1921年	24.5 × 23.5	油彩、板
07	浅間山麓 軽井沢	望月桂	1923年	24.5 × 23.5	油彩、カンヴァス
08	横川火力発電	望月桂	1927年	24.5 × 23.5	油彩、板
09	信越線	望月桂	1912年	24.5 × 23.5	油彩、カンヴァス
10	蔵	望月桂	1973年	54.2 × 38.2	水彩、紙
11	稔りの秋	望月桂	1940年	90.0 × 146.0	油彩、カンヴァス
12	自画像	望月桂	1914年	30.5 × 27.0	墨、紙
13	自画像	望月桂	1967年	44.5 × 32.5	油彩、カンヴァス

第2章 美術からの逸脱、アナキズムとの出会い

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
14	少女と水仙	望月桂	1907年	24.4 × 32.3	油彩、カンヴァス
15	デッサン	望月桂	1906年頃	63.6 × 49.1	木炭、紙
16	風船 (中村しげ子・公子のお守)	望月桂	1919年	62.5 × 44.0	墨・水彩、紙
17	とっくり	へちま	1916-17年	Φ7.5 × 12.5	
	おちょこ	へちま	1916-17年	Φ5.5 × 2.5	
	お盆 (蛙と蝸牛)	望月桂	1923年か	Φ34.0 × 5.0	
	お盆 (へちま)	望月桂	1923年か	Φ30.0 × 5.0	
18	Hospitalo (病院)	望月桂	1919年	31.5 × 40.5	木炭、紙
19	Ftizo (結核)	望月桂	1919年	46.2 × 62.0	コンテ、紙
M-1	スケッチ	荻原碌山	制作年不詳	13.5 × 10.4	木炭、紙
	紹介文入り名刺	荻原碌山	1909年	9.0 × 5.5	印刷、紙
M-2	大円社名刺	望月桂	1913-1914年	9.0 × 5.5	印刷、紙
M-3	コスモス会入場券	コスモス会	1910年頃	9.0 × 6.2	印刷、紙
M-4	パンフレット	へちま・大円社	1916年	13.6 × 19.2	印刷、紙
M-5	アルス宛紹介状	大杉栄	1922年頃	7.5 × 4.3	インク、紙
	原稿「吾等の思想と行動」	大杉栄	1920年頃	24.4 × 33.2	インク、原稿用紙
M-6	第1回未来派美術展絵葉書 (普門暁、伊藤順三、原泰雄)		1920年	9.0 × 14.2	印刷、紙
M-7	丝瓜帖		1916年6月	40.5 × 14.5	墨、紙
	樂書帖		1916年7月	28.0 × 18.	墨、紙

第3章 黒耀会 現代アートの起点として

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
20	製糸工場 (女工)	望月桂	1920年	71.5 × 54.5	墨・水彩、紙
21	遠眼鏡	望月桂	1920年	77.0 × 54.3	墨・水彩、紙
22	反逆性	望月桂	1920年	36.5 × 53.5	墨・水彩、紙
23	機械は大丈夫か	望月桂	1920年	59.3 × 42.9	墨・水彩、紙
24	赤い風	望月桂	1920年	28.2 × 80.8	墨・水彩、紙
25	本所大水害	望月桂	1921年頃	31.0 × 22.2	油彩、カンヴァス
26	春遠からず	望月桂	1920年頃	43.8 × 62.5	墨・水彩、板
27	病苦	望月桂	1920年	42.2 × 31.3	墨・水彩、紙
28	霜の朝	望月桂	1920年頃	38.0 × 28.0	墨・水彩、紙
29	此頃のきもち	望月桂	1919年	38.0 × 27.5	墨・水彩、紙
30	突撃	望月桂	1920年頃	58.3 × 43.5	墨、紙
31	新しい芽はふく	望月桂	1920年頃	118.5 × 44.0	墨・水彩・紙
32	アダムとイブ	望月桂	1920年頃	131.5 × 31.0	墨・水彩、紙
33	今年こそは	岩佐作太郎賛、望月桂画	1920年頃	131.3 × 30.2	墨・水彩、紙
34	寝る人	望月桂	1920年頃	133.0 × 31.0	墨、水彩、紙
35	夕暮	久板卯之助	1920年頃	37.6 × 26.5	水彩、紙
36	無銭王国	宮崎安右衛門	1920年	64.2 × 29.5	墨、紙
37	蝸牛住宅難を囁ひ	大庭柯公	1920年	66.8 × 31.1	墨・水彩、紙
38	労働者の天下	堺利彦賛、望月桂画	1920年頃	128.0 × 28.5	墨・水彩、紙
39	天下太平鞠の蹴りたき日永かな (蹴鞠)	堺利彦賛、望月桂画	1920年頃	118.0 × 30.1	墨・水彩、紙
40	寄せ書き	大杉栄・堺利彦・和田久太郎・岩佐作太郎賛、望月桂画	1920年頃	119.5 × 63.2	墨・水彩、紙
41	寄せ書き	石川三四郎、八太舟三賛、望月桂画賛	1920~26年頃	122.5 × 33.0	墨、紙
42	階級闘争	石川三四郎・八太舟三賛、望月桂画賛	1920~26年頃	134.0 × 64.0	墨、紙
43	自由の濫用を恐れるな	岩佐作太郎賛、望月桂画	1920年頃	119.0 × 30.0	墨、紙
44	枯木	有島武郎賛・望月桂画	1923年	137.0 × 65.0	墨・水彩、紙
45	金陵懐古	有島武郎賛、望月桂画	1923年	131.5 × 30.5	墨・水彩、紙
46	日本魂	有島武郎賛、望月桂画	1923年	136.6 × 33.7	墨、紙
M-8	黒耀会宣言	黒耀会	1919年12月5日	11.5 × 15.0	印刷、紙
M-9	『黒耀』第1年6月号 (創刊号)	黒耀会	1920年6月7日	27.0 × 20.0	印刷、紙
M-10	黒耀会主催第二回作品展覧会目録	黒耀会	1920年11月23日	18.0 × 26.0	印刷、紙
M-11	黒耀会第一回展・第二回展新聞記事 (『東京日日新聞』、『やまと新聞』、『都新聞』)		1920年		スクラップ
M-12	黒耀会展出品短冊	有島生馬、江口渙、小川未明、鈴木三重吉、和田久太郎ら	1920年頃	各 36.0 × 6.0	
M-13	『黒濤』第1号 (創刊号)	黒濤会	1922年7月10日	40.0 × 27.5	印刷、紙

第4章 大杉栄の背中と服

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
47	入獄前のO氏 (自画像)	望月桂	1920年	43.0 × 61.8	墨、紙
48	ある日の大杉	望月桂	1920年	90.0 × 58.2	墨・水彩、紙
49	『漫文漫画』原画70点	望月桂	1922年	24.5 × 17.5	インク、紙
50	大都市大文明死滅	加藤一夫賛、望月桂画	1923年	136.0 × 30.0	墨、紙
51	国法を憲兵さへも破る時	和田久太郎賛、望月桂画	1923年	132.5 × 30.5	墨、紙
52	焼跡 (震災)	和田久太郎賛、望月桂画	1923年頃	133.6 × 30.9	墨、紙
53	大杉栄像	横江嘉純	1924年	12.8 × 7.5 × 7.8	ブロンズ
54	黒い花	加藤一夫賛、望月桂画	1923年	126.5 × 30.6	墨、紙

第5章 あの世からの花

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
55	東京大震災 神田	望月桂	1923年	22.0 × 31.0	油彩、板
56	東京大震災 築地	望月桂	1923年	22.0 × 31.0	油彩、板
57	東京大震災	望月桂	1923年	22.0 × 31.0	油彩、板
58	俳句三首	和田久太郎	1925年	107.7 × 34.6	墨、紙
59	和田久太郎像	望月桂	1928年頃	27.5 × 19.8	鉛筆、紙
60	あの世からの花	望月桂	1929年頃か	26.0 × 18.4 (台紙)	押し花
61	死の宣告	望月桂	1926年	73.0 × 58.5	墨・水彩・コラージュ、紙
M-14	和田久太郎の囚人番号か		1928年か	10.0 × 6.1	布
M-15	獄中からの手紙 中村しげ宛封緘はがき	和田久太郎	1925年9月1日付	12.5 × 31.5	インク、紙

第6章 犀川凡太郎と戦争

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
62	漫画雑誌『バクショー』全16冊(2冊欠)	爆笑社	1938-39年	30.0 × 22.5	印刷、紙
63	『バクショー』創刊号原画	藤田嗣治	1938年	30.0 × 22.0	水彩、紙
64	『バクショー』原画「めかくし美人画」	藤田嗣治、望月桂、小野佐世男、池部鈞、前川千帆、安本亮一	1938年	33.5 × 33.5	墨、紙
65	『バクショー』原画「近代都市防空装備」	望月桂	1938年	31.5 × 45.0	水彩、紙
66	『バクショー』原画「スピード時代認識不足」	藤田嗣治	1938年	30.0 × 45.0	水彩、紙
67	『バクショー』原画「釣のシーズンです」	小野佐世男	1938年	24.5 × 32.0	水彩、紙
68	『バクショー』原画「ねことねずみ」	北村西望	1938-39年	24.0 × 31.0	水彩、紙
69	「非常時親分」原画	望月桂	1930年代後半	27.9 × 12.3	インク・水彩、紙
70	青物つくし	岡本一平、池部鈞、望月桂	1940年頃	133.5 × 32.5	墨・水彩、紙
71	土管	望月桂	1940年	135.9 × 33.0	墨・水彩、紙
72	防空訓練	望月桂	1944年頃	137.0 × 34.8	墨・水彩、紙
73	偶像崇拜	望月桂	1905年か	63.5 × 48.2	木炭、紙
74	臣道実践	望月桂	1940年頃	68.0 × 68.4	墨・水彩、紙
M-16	犀川凡太郎後援会趣意書		1930年代	22.0 × 66.0	印刷、紙
M-17	犀川凡太郎名刺	望月桂	1928-1929年	9.0 × 5.5	印刷、紙

第7章 LIFE IS ART 生活即芸術

#	作品名	作者	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
75	百姓百態 百姓のよなべ	望月桂	戦後	60.9 × 68.5	墨・水彩、紙
76	群生雑居	望月桂	1966年頃	67.4 × 68.5	墨・水彩、紙
77	緑山碧空 沸日雲	望月桂	1970年頃	68.4 × 68.8	墨、紙
78	雲海	望月桂	戦後	68.6 × 68.8	墨・水彩、紙
79	山中の温泉	望月桂	戦後	137.9 × 34.4	墨・水彩、紙
80	土籠もち土にもかくは地主なり	望月桂	戦後	134.9 × 34.5	墨・水彩、紙
81	雲上人	望月桂	戦後	138.1 × 34.3	墨・水彩、紙
82	碧海怒濤嘯岩壁	望月桂	戦後	136.6 × 34.3	墨、紙
83	靈氣満山潔人心	望月桂	戦後	135.7 × 34.2	墨、紙
84	台風の日	望月桂	1959年	37.5 × 45.5	油彩、カンヴァス
85	ミシンをふむ	望月桂	1963年	33.0 × 24.0	油彩、カンヴァス
86	白馬大雪溪	望月桂	1958年	33.1 × 45.5	油彩、カンヴァス
87	信越境 峠の残雪	望月桂	1956年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
88	大町東山 夕日映ゆる山	望月桂	1960年	33.0 × 45.5	油彩、カンヴァス
89	姨捨山の秋	望月桂	1957年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
90	池の平温泉	望月桂	1959年	37.5 × 45.5	油彩、カンヴァス
91	秋の妙高 池の平	望月桂	1959年	37.4 × 45.3	油彩、カンヴァス

92	初秋の水辺	望月桂	1955年	35.0 × 45.5	油彩、カンヴァス
93	山村の秋	望月桂	1958年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
94	木曽牧尾ダム	望月桂	1963年	37.5 × 45.5	油彩、カンヴァス
95	夏の戸隠 奥の院参道	望月桂	1958年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
96	八ヶ岳麓より 朝霞の富士	望月桂	戦後	37.5 × 45.5	油彩、カンヴァス
97	徳沢キャンプ	望月桂	戦後	32.0 × 44.5	油彩、カンヴァス
98	八ヶ岳 清里方面から	望月桂	戦後	37.5 × 45.5	油彩、カンヴァス
99	穂高わさび畠	望月桂	1960年	24.0 × 33.0	油彩、カンヴァス
100	安曇平を眺 高瀬川	望月桂	1965年	31.7 × 41.0	油彩、カンヴァス
101	新潟港川口	望月桂	1950年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
102	夕立雲 鉢伏山頂より	望月桂	1963年	33.5 × 45.0	油彩、カンヴァス
103	浅間温泉裏山	望月桂	1957年	24.5 × 33.0	油彩、カンヴァス
104	白馬 キャンプ地	望月桂	1958年	33.0 × 24.5	油彩、カンヴァス
105	百合に蜂	望月桂	戦後	129.2 × 32.5	墨・水彩、紙
106	踏まれては深く根をはる冬の麦	望月桂	1975年	133.2 × 67.2	墨・水彩、紙
107	懐古山清路	望月桂	1975年	134.0 × 67.3	墨・水彩、紙
108	百姓百態 農地改革	望月桂	戦後	31.0 × 46.1	墨・水彩、紙
109	百姓百態 草刈り 糸瓜棚	望月桂	戦後	31.0 × 46.1	墨・水彩、紙
110	文化?進化じやねえ退化だ気付たかね後ずさり是進歩	望月桂	戦後	24.0 × 33.9	墨・水彩、紙

映像・インスタレーション

	この世からの花	松田修	2025年	13分7秒	シングルチャンネルビデオ、花
--	---------	-----	-------	-------	----------------

作品選定：足立元、岡村幸宣、塩原理絵子

章解説：足立元

作品解説：

足立元 (GA)、植草学 (GU)、大島浩 (HO)、岡村幸宣 (YO)、古屋淳二 (JK)、塩原理絵子 (RS)、武井敏 (ST)、村田裕和 (HM)

タイトルデザイン：風間サチコ

展示空間監修：卯城竜太

映像制作：松田修

照明演出：渡邊菜見子

展示設営：

小滝タケル、加藤広太、鈴木基真、松尾駿太郎、森洋樹 (以上、square4)

足立元、稲永英俊、卯城竜太、大島浩、岡村幸宣、小滝タケル、古屋淳二、塩原理絵子、武井敏、田中実花子、トモトシ、浜地稔、

松田修、丸木幸代、丸木沙里、丸木伸里、山口和彦、渡辺志桜里

作品輸送：カトーレック

輸送協力：秋山佑太

資料調査等協力：

清澤栄三、伊藤広美、荒川瞳、等々力みどり、中村理恵 (以上、安曇野市美術館)

平沢重人、松澤果穂、幅国洋、千村裕一、山田真一 (以上、安曇野市文書館)

各作品についての解説リストは、ウェブサイトにて閲覧、ダウンロードが可能です。

こちらのQRコードからアクセスしてください。

解説は会期中に随時更新されていく予定です。

